

令和4年度第1回吹田市スポーツ推進計画（スポーツ施設整備方針）策定会議 会議概要

- 1 日 時 令和4年8月31日（水） 18時から19時30分
- 2 場 所 吹田市役所高層棟4階 特別会議室
- 3 出席委員 富山委員、松井委員、下岡委員、孫田委員、山本委員、水谷委員、望月委員、前田委員、中野委員、林委員
- 4 欠席委員 祐末委員、村林委員
- 5 事務局 辰谷副市長、井田都市魅力部長、長井文化スポーツ推進室長、金参事、大村主幹、浅田主査、守屋主査
- 6 議 題 (1) 計画策定業務について
(2) アンケート調査の実施について
(3) その他

7 議事概要

| 発言者 | 内容 |
|-----|--|
| 事務局 | <辰谷副市長よりあいさつ> |
| 出席者 | <事務局・委員による自己紹介> |
| 事務局 | <委員長・副委員長の指名> 「吹田市スポーツ推進計画（スポーツ施設整備方針）策定会議設置要領」第4条に基づき、富山委員を委員長に、祐末委員を副委員長に指名し、委員一同より了承を得る。 |
| 委員長 | <富山委員長よりあいさつ> |
| 事務局 | 【議題（1）計画策定業務について】 <資料に基づき説明> |
| 委員長 | 第1回策定会議ということで、計画策定業務及び計画全般について自由な意見を頂きたい。 |
| A委員 | 計画で設定する数値目標は、市民のスポーツ実施率か。それとも、複数の数値目標を設定するのか。 |
| 事務局 | 計画の効果や成果について進捗管理をするために数値目標の設定を予定 |

| | |
|-------------|--|
| <p>委員長</p> | <p>しているが、設定項目及び設定値等は今後の検討事項である。計画策定に向けご意見をいただきながら決定したい。</p> <p>資料Ⅰ（P.6）について、計画のイメージに「する」「みる」「ささえる」という基本的な3つに、「つながる」が加えられている点が面白いし賛同できる。スポーツで人と人がつながるという視点が非常に大事だと日ごろから思っていた。</p> <p>調査によると、スポーツをする理由について、「仲間との交流」が昔は4位くらいにあったが今は8位くらいになっている。ウォーキングやジョギングなど少人数や自分だけでもできるものを、自宅の周辺で健康のために黙々とやっているのが現状だと思う。</p> <p>地域へのインパクトの研究や調査をしていると、人とつながることが、地域への愛着、生きがい、やりがい、クオリティ・オブ・ライフに大きな影響があるという結果も多く出ているので、黙々と1人でやるのはさみしく感じる。一緒になってチームスポーツをするというつながりだけではなく、吹田市にはガンバ大阪などを核に市民が一体感を感じられるようなつながりや、施設を利用している人たち同士の緩やかなつながりなど、目に見えるものから見えないものまで、いろいろなレベルのつながりがあると思う。</p> <p>また、第3次大阪府スポーツ推進計画でいう「楽創都市」は、スポーツの楽しさを享受することと、スポーツで楽しいまちをつくらうという「楽しさ」がキーワードである。それも人との共有が重要なポイントとなっているので、吹田市の計画のイメージに「つながる」が入るのは面白いと思う。</p> |
| <p>B 委員</p> | <p>「つながる」に関しては、吹田市にはプロサッカーチームだけでなく、ゆかりのあるプロスポーツ選手はたくさんおり、財産になっていると思う。また、数多い自治体の中で約50都市にしかJリーグのプロサッカーチームは存在しない。そのメリットも生かしていければ、より良いものになると考えている。</p> |
| <p>C 委員</p> | <p>SDGsの視点からスポーツは、ゴール3の健康の維持が主な目標となるが、ほかのゴールにとっても重要な役割を担っている。スポーツで健やかになる以外にも、アスリートからヘルシーな食を学ぶ、スポーツDXで産業活性する、ガンバ大阪が行っているシェアサイクルの実証実験でスポーツを通してまちづくりに貢献する、自然界で行うスポーツを通して生物の豊かさを学ぶ、熱中症から気候変動を学ぶなど、いろいろな波及効果があ</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>る。包摂的な視点をベースに持ち、進めていければいいと思う。</p> |
| D 委員 | <p>「つながる」という面では、地域でゲートボールや体操をするために集まった方に対しての、「元気だった？」という一言から次のステップへ進むのではないかと思う。声掛けをしながら広めていこうとしている。</p> |
| E 委員 | <p>スポーツを「する」という点では、ハード面の充実を考えていかなければいけないと思うので、議論をして前に進めていきたい。</p> |
| F 委員 | <p>吹田市の中に体育館が5館あるというのはいい。体育館では、1週間に約100本の教室をしており、市民のための体育館での「つながり」は、吹田市は進んでいると感じる。</p> |
| G 委員 | <p>例えば、障がい者体育祭にはいろいろな団体が参加し、お互い話をすることを楽しみにされている。これまで、障がい者同士だけではなく、いろいろな団体やボランティアの方とつながることができたし、今後もつながることができたらいいと思うので、「つながる」という視点は非常にありがたい。</p> |
| A 委員 | <p>健康づくりのイベント等には、スポーツに興味のある人しか来ない。SDGsやまちづくりなど、スポーツから波及する効果等を考えると、スポーツに興味や意識がない人たちへの、もっと違うアプローチの仕方はないのかなと思う。体を動かすことの楽しさや、健康すいた21の「くらしにとけこむ健康づくり」にあるように、自然と健康になることが、今後は重要であると思う。それを具体化するの難しいが、観点を変えていかなくてはいけないのではないかと感じている。施設の整備だけでなく、公園や道など、暮らしの中で自然と体を動かし、自然と「つながり」ができるというところにも視線を向けていかなければいけないと思う。</p> |
| 委員長 | <p>スポーツ庁もスポーツの定義を大きくしている。ジャージに着替えて靴を履き替えてやろうというスポーツだけではなく、ショッピングモールのぶらぶら歩きもスポーツだとなってきたので、体を動かしてもらえばいいという視点が大事ではないかと思う。</p> |
| H 委員 | <p>吹田市の施設は充実していると思う。大学数も全国有数である。万博公園には広い芝生もあり、世帯年収も高く、教育に熱心な方や、年配の方でも</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>スポーツにお金を使える方が多く条件は整っている。しかし、マンションに住む方や、吹田市外で働く方が多いので、つながりがもっとできればと思う。施設を整えるだけでなく、ショッピングモールで歩くなど、きっかけや仕掛けづくりのほうが大事ではないかと思う。</p> |
| I 委員 | <p>現在、吹田市に住んでおり、住みやすい町だと感じる。コロナが流行して、思うように活動できなかった際には、吹田市のスポーツ施設を利用した。施設では、高齢者がトレーニングをしたり、団体がスポーツをしたり、健都レールサイド公園では、夜にランニングをしている方がいて、スポーツをする人が多い印象がある。</p> <p>関西大学では、地域に根差したスポーツ活動を行い、小学生にバスケットボールを教えたりしているが、大人がスポーツの楽しみを幼いころから教えていくことが必要だと感じている。また、スポーツの教室や活動について情報発信していくことが重要だと思う。</p> |
| 委員長 | <p>皆さんから頂いた意見や思いを、うまく形作って計画としていければと思う。</p> |
| 事務局 | <p>【議題（２）アンケート調査の実施について】 <資料に基づき説明></p> |
| G 委員 | <p>無作為抽出 2,000 人の市民向けアンケート調査では、なかなか障がいのある人には届かないと思うが、スポーツ関係団体の中に障がいのスポーツ団体はあるのか。</p> <p>障がいのある方には、ハード面が重要になる。アンケートの調査項目には施設や、障がい者スポーツのこともあるので、障がいのある人にアンケートが届けばいいと思う。</p> <p>また、漢字が読めない人向けにふりがなが欲しいが、健常者が読みにくくなり、合理的配慮のバランスから考えると難しいと思う。</p> |
| 事務局 | <p>スポーツ関係団体向けアンケートの対象に障がい者関係の団体はない。しかし、庁内会議でも同様の意見があり、今後、計画策定に向けては、障がい者の方向けに、別途、アンケート調査等何らかの形で情報収集を行いたいと考えている。</p> |
| C 委員 | <p>市民向けアンケートについて、若者はなかなか回答しないと思うので、比</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>較的高齢者の回答の割合が多くなりやすい。若者からの回答が一定数集まるまで調査を続けるなど、若者の声をしっかり集めることはできそうか。極力若者たちの声を聞いてほしい。</p> |
| 事務局 | <p>今回の調査では、Web 回答を併用する。他自治体の事例でも、Web 回答の活用で若年層の回答率が上がっているのので、効果はあると思う。</p> |
| C 委員 | <p>設問数が多く、回答に 30 分程かかる。特に若者の回答率を下げそうなので、本当に必要な質問なのかスクリーニングし、設問数を減らせないか。</p> |
| 事務局 | <p>今回の計画がソフト・ハード両面の計画であるため、設問数が多くなっている。設問趣旨や内容が重複する部分は整理する。</p> |
| H 委員 | <p>全設問の 3 割から 4 割程度は、回答にコロナ禍の影響がでると思う。例えば、現在実施しているスポーツについての設問もコロナ禍の影響によりランニングなど 1 人でできるものに偏りがでることも考えられるが、参考になるのか。可能であればコロナ禍が落ち着いてから実施するのがいいと思う。</p> |
| 事務局 | <p>コロナ禍について先が見えないなかで、アンケート調査の先延ばしは考えていない。今回の調査結果は、国が毎年実施している世論調査との比較もできる。また、計画の中間見直しの際にもアンケート調査をすると思うが、その時にコロナが落ち着いていれば、コロナ禍の影響がどの程度あったのかも比較できると思う。</p> |
| 委員長 | <p>コロナ禍の影響はもどかしい部分ではあるが、コロナ禍での調査と、コロナが落ち着いた段階での調査のデータを併用していけたらと思う。</p> |
| I 委員 | <p>若年層の回答率を上げるために、吹田市で使えるクーポンや図書カード等を回答のお礼とすればいいのではないか。</p> |
| 事務局 | <p>予算や手続き等の十分な検討が必要であり、現時点では難しいと考えている。若年層の回答率を上げる取り組みについては、今後、他市も参考にしながら考えたい。</p> |
| A 委員 | <p>デジタルトランスフォーメーションに期待する内容を問う設問があるが、</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>回答結果により市が何かに取り組むのか。デジタルトランスフォーメーションに関する取り組みを市民が求めていけばするのか。</p> |
| 事務局 | <p>設問への回答から直ちに事業を行うというものではない。デジタルトランスフォーメーションのような近年の新しい概念や取り組みについての市民の意識を問うものである。</p> |
| A 委員 | <p>国レベルでデジタルトランスフォーメーションをスポーツに活用するのはわかるが、市町村レベルで活用事例があるのか、行政がすることなのか、行政は支援する立場なのかなど疑問が多い。さらに、続く「スポーツ施策として、今後どのようなことに力を入れるべきか」という設問では選択肢がアナログに戻っており、デジタルトランスフォーメーションの設問の意図がわからない。せめて順番を変えてもいいと思う。</p> <p>施設利用者対象調査は、施設について聞くためだと思うので、応援に来ている人ではなく、実際に使っている人に対して配るべきである。施設の利用しやすさの設問では、吹田市は使用料が特に安いということが見えてくると思うが、その結果をどのように活用したいのかがよくわからない。</p> <p>また、関係団体対象調査の対象団体では、同じ人が複数団体で重複して活動している。委託業務など市とのかかわりもあり、団体の活動内容のほか、指導者の減少や高齢化などの課題は市も当然わかっていると思う。団体内でアンケートを実施している団体もあるので、市が調査する必要がないのではないか。</p> <p>全体として、何を聞いて、何を数値化しようとするのかがわからない。</p> |
| 事務局 | <p>デジタルトランスフォーメーションについての設問は唐突に出てくることもあり、順番変更も含めて検討する。</p> <p>また、回答の結果が想像できる部分もあると思うが、回答の年代や性別などの分布や偏りなども含めて、基礎的な統計情報として収集するものと考えている。回答の結果で求められていることに直に取り組むというのではなく、ニーズを把握し、市の取り組みとのマッチ・アンマッチの確認等もできると考えている。</p> |
| A 委員 | <p>アーバンスポーツについての設問に続いて、スケートボードに特化した設問があるのはなぜか。</p> |
| 事務局 | <p>公園や道路を含めて、市内でのスケートボードの実施について市民から</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>様々な意見や要望があるので、市民ニーズの収集をしたい。</p> |
| H 委員 | <p>スケートボードの設問は、他部署とも共有してほしい。</p> |
| 事務局 | <p>アンケート調査の結果報告書は、計画策定にあたり作業部会等で説明するほか、必要に応じて庁内で共有する。</p> |
| A 委員 | <p>「みる」スポーツについて、ガンバ大阪の質問が多いが、「みる」スポーツはガンバ大阪に特化しているのか、大きな柱がガンバ大阪であるということか。</p> |
| 事務局 | <p>市の特色としてガンバ大阪を出しているが、ガンバ大阪に特化するとは考えていない。「どういったスポーツが見たいですか」という設問などを参考に、幅広いスポーツを幅広い年代でみていただくことを考えていきたい。</p> |
| B 委員 | <p>市立吹田サッカースタジアムは、ネーミングライツで「パナソニックスタジアム吹田」となり5年目なので、市民にとってはそちらの方になじみがあるのではないか。</p> |
| 事務局 | <p>併記するように修正する。</p> |
| E 委員 | <p>アンケートの見直しは、事務局一任の形でもいいが、最終の調査票は委員に届くのか。</p> |
| 事務局 | <p>いただいた意見について調整・修正し、最終版を送付させていただく。</p> |
| 委員長 | <p>事務局には、各委員からの意見を参考に、アンケート調査の実施をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>【議題（3）その他】 <次回の開催予定、議事概要の共有・公開等について事務連絡></p> |